

平成 28 年 8 月 29 日

真庭市長 太田 昇 様

久世駅CLTモデル建築物(仮称)設計コンペ審査委員会

委員長 工藤 和美

## 審 査 結 果 報 告

久世駅CLTモデル建築物(仮称)設計コンペ審査委員会は、平成 28 年 8 月 29 日に開催した同委員会において、一次審査を通過した 6 者から提出された提案書について、各者からのヒアリングによる審査を行った結果、「最優秀作品」及び「優秀作品」を別紙のとおり選定したので報告します。

## 久世駅CLTモデル建築物(仮称)設計コンペ最終審査結果

平成 28 年 8 月 29 日

1. 2次審査年月日 平成 28 年 8 月 29 日

### 2. 審査結果

久世駅CLTモデル建築物(仮称)設計業務を委託する設計者の選定を行うため、久世駅CLTモデル建築物(仮称)設計コンペを、コンペ方式で実施し、最優秀作品及び優秀作品を選定した。

#### 最優秀作品

整理番号 225

応募者名 株式会社 ofa 代表取締役 小原 賢一

主担当 深川 礼子

#### 優秀作品

整理番号 238

応募者名 株式会社川島真由美建築デザイン一級建築士事務所

代表取締役 川島 真由美

主担当 川島 真由美

#### 入選作品 (応募順)

応募者名 株式会社倉森建築設計事務所

大旗連合建築設計株式会社

株式会社藤川原設計

株式会社日建ハウジングシステム

### 3. 審査委員（8名）

委員長	工藤 和美	シーラカンズK&H(株) 代表取締役 東洋大学理工学部建築学科 教授
委員	腰原 幹雄	東京大学生産技術研究所 木質構造デザイン工学 教授
委員	弥田 俊男	岡山理科大学工学部建築学科 准教授
委員	嶋田 詠子	(一社)岡山県建築士会 常務理事
委員	三田 博子	(一社)岡山県建築士会 女性部会部長
委員	岡田 暁	真庭商工会 理事
委員	有森 達也	岡山県土木部都市局 建築営繕課長
委員	吉永 忠洋	真庭市副市長

### 4. 審査経過

選定は、2段階の審査を行うコンペ方式（提案を公募して提案内容・ヒアリングで選定）により案を選定する方式で行った。

平成28年7月13日までに応募のあった提案18作品について、匿名方式により提案書の評価内容による審査を行い、評価点の高い6作品を選定した。

平成28年8月29日開催の2次審査では、6作品の各提案についてのヒアリングを行い、提案書・ヒアリング・模型によるプレゼンテーションなどの内容で評価し、一次審査結果との合計得点で評価点の高いものから最優秀作品、優秀作品を選定した。

審査委員は、公正・公平に客観性を確保するため、学識経験者、専門知識及び経験を持つ建築関係職員等、合計8名の審査委員により、公平かつ厳正に行った。

## 5. 審査講評

森林資源を多く活用することで地域創生につながると期待されている新たな建築材料CLTを用いた建築物のコンペを実施した。

さらに女性建築士の活躍を期待して主担当とし、引き続き設計業務の担当としていることから、提案内容への思いや本事業に対する情熱を直接聞いたことは、真庭市にとっても今後の業務を進める際の参考になるものと思われる。

各者の提案には、CLTの構造材・化粧材としての新たな活用方法、環境配慮や、コスト削減、短いスケジュールで実現する提案、さらにはまちづくりにつながる提案など、優れた提案・鋭い意見が感じられた。

その中で、具体的提案内容、実現性、スケジュールの考え方などから総合的に優れていると判断した「株式会社ofa」の作品を最優秀作品とした。

2次に残った作品については、それぞれに良い点があり、小さなスペースだが、オリジナリティのある切り口で多様な提案があった。奇抜で存在感の強いものから、背景になじむ雰囲気のものまでこの場に合うものは何かという点は審査の流れを決めるポイントの一つだった。

小さなサイズの中で、新しいCLTという材料での様々な可能性の提案がなされた。いろいろなことが構造的にできるが、技術的なものばかりに走らず、人間的なスケールを大切にしたものが最優秀作品として選ばれた。

また、完成までのスケジュールが短いという条件も選定に少なからず影響している。今後の法律や技術の発展で今回は選ばれなかったようなものもできるようになる可能性がある。最優秀作品についてもまだ整理できていない部分もあると思うが、小さくても魅力的なものにブラッシュアップして完成させてほしい。

まちづくりの視点が設計コンペ要領で強調されていなかったせいも、「この場所は、このまちは」といった場所性よりも「この建物は」という切り口の提案が多かったようだが、今後は市の行うまちづくりとの連携により、少しでもこの町がよりよくなり、CLTの技術や産業発展にもつながるものであってほしい。